

## 高島市における家庭教育支援の取組

高島市	本事業開始年度 平成 26 年度
活動内容	
<input type="checkbox"/> 地域人材の養成 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援体制の構築 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育を支援する取組 <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援活動の実施	
年間活動日数(のべ)	( 7 日 )

家庭教育支援員や支援チームに関すること	
A:家庭教育支援チーム数	( 0 )チーム
B:家庭教育支援員数	( 0 )人
C:家庭教育支援チームや家庭教育支援員の配置場所数	( 0 )か所
D:前項(C)の配置場所名	( - )

### ■ 家庭教育を取り巻く現状

人口減少に伴い地域交流が希薄になる中、家庭内のコミュニケーションはもとより、地域内での繋がりづくりに焦点を合わせた事業の充実を図る必要がある。

### ■ 家庭教育支援で目指す姿(課題解決のために…)

親子間の交流を促進することを目的とした講座や学習会を開催し、親子で一緒にふれあう機会を提供する。また、参加者同士の交流により、子育て中の保護者の孤立を防ぎながら、地域の子育てコミュニティの活性化を図る。



【 地域教育力向上講座:公民館脱出ゲーム 】

### ■ 本年度の活動

#### (1)地域教育力向上講座(令和8年2月8日実施)

地域で活動されている団体や中学校生徒の協力のもと、小学校低学年を対象とした事業を開催し、地域教育力の向上を図る機会となった。

#### (2)共育学習会(令和8年2月 21 日実施)

「一般社団法人あそび庁」と地域で活動されている団体と連携し、親子で気軽に楽しめる体験型事業を展開した。

#### (3)子どもにどうかかわりあうか講座(年間 6 回実施済)

各学校・園と公民館の連携により、年齢の近い子どもを持つ保護者同士が子育てについて共有できる場を提供した。子どもとの関わり方や家庭教育支援のあり方について考える機会となった。



【 共育学習会:世界あそび万博 in 高島 】

### ■ 特徴的な取組

一般社団法人あそび庁の企画である世界あそび万博を滋賀県で初開催した。今後も多面的な視点を持ち、様々な事業を展開していきたい。

### ■ 本年度の成果

地域で活動されている団体の方と意見を出し合い、楽しい企画かつ参加者にとって有益な時間となるよう計画を進めることができた。家庭教育を焦点に、地域の方と活動できる貴重な機会になった。

### ■ 今後の課題

地域で活動されている団体の方や生徒と事業計画を進める方法で、年に複数回開催できる体制づくりを目指す。

報告書記入者( 社会教育課 主査 )

## 高島市の地域教育力の向上を目指した取組

### ■ 活動の具体的内容

#### ○地域人材の養成等

家庭教育の充実を図るべく、地域で活動されている団体の方や中学生と連携をし、親子や参加者同士の交流促進を目的とした事業を実施した。

#### ○学習講座・行事の実施等

##### (1)地域教育力向上講座(令和8年2月8日実施)

小学校低学年を対象に「公民館脱出ゲーム」を実施した。初めて会う仲間と一緒に協力し合いながら脱出ゲームに取り組むことができた。

また、企画の段階から地域で活動されている団体や中学生と連携し、様々な団体が地域で活躍する機会となった。

##### (2)共育学習会(令和8年2月21日実施)

一般社団法人あそび庁や地域で活動している団体と「世界あそび万博 in 高島」を実施した。当日は約60人の参加者と地域で子どもに関わっておられる団体が交流し、親子や参加者同士のコミュニケーションを深めることができた。

##### (3)こどもにどうかかわりあうか講座(年間6回実施済)

各学校・園と公民館の連携により、子育てや人との関わり方等をテーマとする講座を年間6回実施した。講座を通じて子育て世代の保護者同士が交流し、育児について情報共有できる機会となった。

#### ○保護者に対する情報提供等

各学校・園へのチラシ設置、子どもに関わる関係団体への周知依頼、市防災無線、LINE配信などを活用して情報提供を行い、事業を広く周知することに努めた。

### ■ 実施に当たっての工夫

○親子や子ども同士の交流はもとより、子育て中の保護者同士で交流ができ、育児に関する情報交換ができる場を提供できるよう心掛けた。

○企画の段階から地域で活動されている団体の方々に携わっていただき、お互いに当事者意識をもって事業計画を進められるよう心掛けた。

### ■ 事業の成果

○座学ではなく体験型の事業にしたことで、親子や参加者同士の活発な交流やコミュニケーションを図ることができた。実際に参加者から「家にいると家事に気が取られて思い切り遊べないが、このようなイベントのおかげで子どもと思い切り遊べた。」や、「初めてのあそびもあったが、ルールや感想を話しながら楽しむことができた。」と好評だった。

○家庭教育を焦点に、地域で活動されている団体の方や学生と一緒に活動できる貴重な機会になった。

### ■ 事業実施上の課題

○2つの事業(地域教育力向上講座および共育学習会)をほぼ同時期に実施することになったため、次年度は開催時期を考慮したうえで事業計画を進めていきたい。

○会場の都合により対象と定員を絞る必要があり、多くの方を対象とした事業には至らなかった。今後は事業規模を拡大もしくは複数回開催するなど、多くの方を対象とした事業になるよう計画したい。



【 地域教育力向上講座:公民館脱出ゲーム 】  
※脱出ゲーム後に  
みんなでかるた大会をしている様子



【 共育学習会:世界あそび万博 in 高島 】  
※親子一緒に「マンカラ」で遊んでいる様子  
※「マンカラ」…世界最古のボードゲームの1つ

報告書記入者( 社会教育課 主査 )